



# れんげそう

令和6年4月8日  
福生第五小学校  
学校通信第560号

## やさしい学校づくり

校長 泉田 巧人

今年度は、48人の一年生を迎え、全校312人で令和6年度がスタートしました。新入児童が、大きな真新しいランドセルを背負い登校する姿がとても微笑ましく春を実感しました。福生第五小学校へようこそ。入学式では、これから始まる小学校生活に期待を膨らませ目を輝かせている様子が見て取れました。在校児童も学年が一つ上がり、新しい学年のスタートです。目標をもって良い一年にしてほしいと思います。



校庭の桜の花

昨年度に新型コロナウイルス感染症も5類となり、地域の方々、保護者の方々、関係諸機関の方々に支えられ、教育活動を活性化していくことができました。本当にありがとうございました。本校は令和4・5年度に東京都教育委員会の安全教育推進校として研究を進めてきました。本研究では「自分の身は自分で守る」等、児童の安全に対する意識が向上するとともに、他の人の命についても考えを深め、他の人も助けたいと人を思いやる気持ちをもつなど、自他の生命を尊重する意識の向上が見られました。この研究の成果を、お互いを尊重し合い一人一人を大切にする安全で安心な学校づくりに生かしていきます。

さて、今年度の本校のテーマは「やさしい学校」です。「やさしい気持ち」「やさしい心」「やさしく教える」「環境にやさしい」等々、様々な「やさしさ」があります。「やさしさ」は自分が何かと関わる時の気持ちや行動に表れてくるものだと思います。人から大切にされることで、自分を大切にするようになり、人を大切にするようになります。また、人に認められ大切にされることで自己肯定感が育っていきます。心が満たされることで、やさしい気持ちになったり行動ができたりします。教員や児童一人一人が「やさしさ」とは何かを考え、どんな時にもやさしい心を持ち、やさしい行動ができるやさしさに包まれた学校づくりを行っていきたいと考えています。そのためにも、人権教育や環境教育等に、更に力を入れていきます。

今年度も変わらぬ御支援と御協力をどうぞお願い申し上げます。